

I 経営の基本 「地域とともに歩む 大好きな学校づくり」

II 本校の教育の目標

「豊かにかかわり 伸びゆく子ども」

本年度の重点目標

「進んでかかわり問題を解決する子ども」

「やさしくかかわり思いやる子ども」

「楽しくかかわりきたえる子ども」

III 目指す学校像

- 1 子どもが、生き生きと学習し、笑顔あふれる学校。
- 2 保護者が、信頼でき、子どもの成長が見える学校。
- 3 地域の方々が、親しみをもて、明るく開かれた学校。
- 4 教師が、子どものよさを引き出し、働きがいのある学校。

IV 目指す学校を実現するために

1 学校運営

- ・「新潟県学校教育の重点」「佐渡市教育大綱」「佐渡市教育振興基本計画」を踏まえた経営方針にもとづく分掌・学年等の年間計画を作成し、適正な進行管理を行う。
- ・子どもの実態を踏まえた学年・学級経営案を作成し、学年・学級経営へ具体化する。
- ・経営参加意欲をもって、「チーム」となって校務を正確かつ積極的に行う。
- ・学校関係者評価などの外部評価を実施し、その声に真摯に対応する。
- ・積極的な課題の解決と研究・研修の実施とその実践化を図る。
- ・地域行事等に積極的に参加するなど、地域とのつながりを強める。

2 教育活動

【学級経営、環境整備】

- ・子ども一人一人が大切にされ、居場所があり、互いに認め合い、励まし合う学級づくりを行う。
※「さん」付けの徹底、机のコの字型配置、歌声（合唱）のある学級
- ・子どもに安らぎ感を与える、美しく整った環境づくりを行う。
- ・子どもが学習を振り返ったり新しい発見ができたりする、タイムリーな教室掲示・廊下掲示を行う。

(1) 確かな学力の向上

<教科等>

- ・「分かる」「できる」授業を展開するための、実態把握に基づく、体験的・問題解決的な学習（主体的・対話的で深い学び）を重視した指導方法の改善と工夫を行う。
- ・個に応じた指導、補充指導の充実を行う。
- ・家庭と連携を取った家庭学習の定着を進める。

<特別支援教育>

- ・どの子どもも教育的支援を求めていることを前提とし、特別支援を意識した「子どもに学ぶ意欲を喚起させる授業」の研究を行う。
- ・「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、具体的で効果的な指導を実施する。

(2) 豊かな心の育成

<道徳教育>

- ・全教育活動を通じた道徳教育を充実させる。
- ・自分を見つめる授業を実施する。

<人権教育、同和教育>

- ・同和教育を中核とした人権教育を推進し、偏見や差別を解消する意志と行動力、そして、自他の人権を守る意欲や態度を育てる。

<特別活動>

- ・子どもの自発性を尊重し、成就感・充実感を持たせる学校行事、児童会活動を推進する。

※お楽しみ会の企画・運営等（チームとしての課題解決：人間関係づくり）

<生徒指導>

- ・子ども理解に努め、一人一人が生き生きと生活できるよう、全職員が一貫した指導を行う体制の確立を行う。
- ・全児童を全職員が見守り、共通の認識に立った素早い指導及び支援を行う。
- ・報告・連絡・相談の日常化と早期対応を行う。
*「心の健康チェック」や中学校と連携した取組を行う。

(3) たくましく生きるための体力の向上

- ・体力向上を図るために、「1学校1取組」を行う。
- ・家庭と連携をとって、健康三原則（食事、運動、休養・睡眠）に基づいた生活習慣を確立する。

(4) 佐渡愛、勤労観・職業観の育成

- ・佐渡のよさを感じ取れるよう佐渡を教材とした授業を行う。
- ・「選択」を大事にしながら自分の「将来」を思い描ける力を高める。

3 その他

- ・「地域とともに歩む 大好きな学校づくり」具現のため、学校に対する要望、期待を的確に把握し、迅速かつ誠意ある対応を行う。
- ・教育目標や経営方針をもとにした各自の目標を設定し、自己申告書へ具体的な行動や活動目標を記載し、実践する。
- ・校長として、児童・職員のため全力で学校経営にあたる。学校での出来事のすべての責任は校長にある。